



重さの基準が新しくなっています！

1kgは、世界共通の単位です。この1kgですが、今から130年以上前の1889年に「国際キログラム原器」という「おもり」の重さとして決められました。これは世界に一つだけのおもりです。その後も「国際キログラム原器」は、フランスにある研究所で大切に保管されてきました。しかし、この原器は表面の汚れになどによって、重さが少しずつ変わってしまうことがわかりました。そこで、全ての基になっている「原子」を使ってkgを決めることが提案されました。原子の重さは、とても小さなミクロな仕組みを解き明かすための「プランク定数」を使って計算するそうです。その計算をさまざまな国が挑戦し、日本の産業技術総合研究所が最新の技術を使って、「プランク定数」をはかることに成功したそうです。そして、2019年からは、この「プランク定数」によって、1kgが決められています。このことによって、絶対に変わらない、重さの基準ができたのです。



朝の光景

今日、交通指導を終えて、学校に戻ると、運動場にしゃがんでいる子供たちや先生たちの姿がありました。よく見ると、その足元には、たくさんの抜かれた草が積まれていました。先日のPTA校内美化作業でたくさんの草が取り除かれましたが、雑草の生命力は強く、まだまだたくさんの草が残っています。それを学年関係なく、子供たちが抜いてくれています。草抜きの向こう側には、上級生のボランティアに取り組む姿もありました。こういう行動によって学校は助けられています。感謝です！



●ひこうきぐも✈ vol.2 |

ローマでは、安宿があったのでチェックインしたものの、とても内装が美しく、大理石張りの様式でした。しかし夜になると警察の抜き打ち検査のようなものが部屋ごとに行われるし、立派な内装の割には、隣や廊下にいる人の話し声が思いっきり聞こえてくるのです。またシャワーを浴びていると排水が悪く、トイレの方まで水が流れ込み、バスルームがビチョビチョになってしまいました。おまけにその晩は、誰かに追われる夢まで見るやらで、翌日には、もうやっとなとチェックアウトすることにしました。すると、最初は1泊40万リラ(当時100リラ=約0.7円)と言っていたのに、べらべらとまくし立てられ、結局85万リラも取られてしまいました。貧乏旅行者にとっては、痛恨の一撃でした。宿では散々な思いしかせず、今度はお金の節約とばかりに、ひたすら歩き回りました。しまいにはお腹がすき、結局料理店に足がふらふらと吸い寄せられ、また食費がかさむ羽目になりました。しかし、料理はさすがにどこへ行っても当たり外れが少なく、パスタなどはその店独特のこだわりが感じられ、さすがパスタの国イタリアだと思いました。



真実の口に手を入れると...

また、食だけではなく、古きよき伝統と歴史を誇るのがローマです。紀元前80年に完成した、コロッセオやローマ帝国の中心の広場であったフォロ・ローマーノなどをじっくりと散策し、明日はスイスに発とうというときに事件は起こったのです。昼間から、おいしいパスタに子羊のステーキ、赤ワイン(とにかく安い)に舌鼓を打ち、満腹になったので店を出ようというときです。足元にあったはずのバッグがどこにも見当たらないのです。現金こそ入っていなかったものの、あの鉄道乗り放題の切符「ユーレイルパス」がそれには入っていたのです。店の人にも、お客さんに聞いても誰も分からないというのです。このとき初めて、バッグが置き引きにあったことに気づいたのです。私の旅に赤信号が灯ってしまいました。※ちなみに盗まれたバッグは、上の画像のバッグです。

※「ひこうきぐも」は、あくまでも荒木が旅をした当時、約30年前の街の様子です。現在とは状況に違いがあることをご了承ください。バックナンバーは昨年度からの累積です。